

公益社団法人米原市シルバー人材センター

令和3年度(2021)事業報告書(案)

令和3年4月1日～令和4年3月31日

I.事業概況

令和3年度は、一昨年来の新型コロナウイルス感染症の感染拡大という状況の中で、我が国の経済活動は多大なる影響を受け、シルバー人材センター事業においても大変厳しい状況が続いております。このような状況の中、年度当初より計画しておりました役員・職員研修および他センターでの研修会等々大事にしてきた人的交流がほとんど実施出来なくなりました。

また、昨今の世界情勢は重大な局面に接しており、新型コロナウイルス感染症と相まって、今後の政治・経済活動に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

このような不透明な状況下ではありましたが、令和3年度の米原市シルバー人材センター事業は、請負・委任事業が好調に推移して派遣事業の大幅な落ち込みをカバーすることが出来、会員数、契約金額および就業延べ人員のすべてにおいて、前年の実績を超えることができました。

このことは、公益社団法人として、従来より取り組んできた地域社会との信頼関係の構築および地域の活性化に貢献してきたことが、より一層推進されてきた結果であると認識しております。今後は、会員の就業環境に及ぼす影響を注視しながら事業を展開してまいります。

令和3年度の事業内容は以下の通りです。

項目	令和3年度	令和2年度	対前年比(%)
会員数	805人	775人	103.9%
契約金額	381,066,778円	372,087,512円	102.4%
*うち派遣事業	109,048,319円	122,418,627円	89.1%
就業延べ人員	79,037人	76,418人	103.4%
*うち派遣事業	17,203人	18,955人	90.8%

II、事業詳細

(1)安全で適正な就業の徹底について

安全就業への取り組みは、シルバー事業運営における最重要課題と位置付けて、安全講習会等によって会員の安全意識の向上を図り、安全・適正就業委員会を中心に事故防止対策を講じてまいりました。

しかしながら、令和3年度の事故状況は「安全メール」でお知らせした通り、物損事故は4件、傷害事故は2件発生いたしました。その内訳は物損事故においては、車の運転に関する車輛事故が1件、除草作業での飛び石による事故が1件、除草作業でのパイプ切断事故が1件、受託物の物損が1件でした。傷害事故においては、伐採作業中のチェーンソーによる裂傷が2件でした。機器の取扱いについては十分な注意を払い作業に臨んでいただくことを徹底してください。車の運転に関する事故も発生しており今後一層の事故防止に努めなければなりません。いずれにしましても油断大敵、安全を最優先しての就業をお願いいたします。

令和3年度も会員の皆様に「安全標語」の募集を行い、会員の皆様方より多数のご応募をいただき、安全・適正就業委員会において、最優秀賞1件、優秀賞2件、入選3件を選考し11月の「安全メール」にて全会員さんにお知らせいたしました。

最優秀賞は「安全は その場その場の危険予知」に決定し、令和4年度の「米原市シルバー人材センター安全のスローガン」とさせていただきます。

また、例年開催しております安全大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とさせていただきます。非常に残念なことではありますが、令和3年度の事故内容を精査し再発防止への具体的方策を構築して、令和4年度事業計画に反映させ実施してまいります。

一方、適正就業の推進については、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき適正就業の徹底を図るとともに、施設管理などの就業についても「施設管理等就業基準」を遵守し、適正かつ公平な就業に努めました。

(2)会員の増強活動について

前年度同様に、定期的な入会説明会を本部と近江母の郷コミュニティハウスで実施いたしました。令和3年度の入会者は98名(男性54名、女性44名)で、年度末の会員数は前年度末より30名増加し805名となりました。入会促進活動として、会員からの勧誘、地域限定・職種限定で新聞折り込み等にて会員募集を実施した結果、多くの方に入会をしていただきました。まだまだ掘り起こせていないところに対して積極的にアプローチしてまいります。

(3)就業開拓・提供事業について

令和3年度の受託事業は、公共関係が前年比12,674千円の増、民間事業所関係は前年比8,740千円の増、一般家庭についても前年比935千円の増となり令和3年度の契約額は22,350千円の増額となりました。一方労働者派遣事業関係は13,370千円の減額となり、契約金総額では前年比8,979千円の増額となりました。受託事業においては、公共関連施設での大幅な受注増およびスキー場関連等の受注増により、大幅に落ち込んだ労働者派遣事業を補完することが出来ました。

令和3年度の受託事業および就業率等については次のとおりです。

受託事業	当期契約額(円)	前期契約額(円)	増減額(円)
公共関係	50,329,298	37,655,373	12,673,925
民間事業所関係	180,097,943	171,357,726	8,740,217
一般家庭	41,591,218	40,655,786	935,432
計	272,018,459	249,668,885	22,349,574
労働者派遣事業	109,048,319	122,418,627	▲13,370,308
契約金額	381,066,778	372,087,512	8,979,266

●就業延べ人員

	令和3年度(人日)	令和2年度(人日)	増減(人日)
受託事業	61,834	57,463	4,371
派遣事業	17,203	18,955	▲1,752
計	79,037	76,418	2,619

●就業率(受託のみ)

	会員数(人)	就業実人員(人)	就業率(%)
男性	499	392	78.6
女性	306	271	88.6
計	805	663	82.4

●就業率(派遣含む)

	会員数(人)	就業実人員(人)	就業率(%)
男性	499	462	92.6
女性	306	289	94.4
計	805	751	93.3

(4) 市指定管理業務

令和3年度からの3年間の指定管理業務契約を引き続き米原市と締結いたしました。坂田駅の利用促進と米原市民やシルバー会員の憩いの場を目的に、「いきいきご縁事業・田んぼっ湖カフェ」事業の更なる充実に向けて挑戦し続けてまいります。また、施設運営管理については、毎月就業会員と事務局との定例会を実施し、運営上の課題を共有し解決に向けて努力しております。

(5) 普及啓発事業

会員増強およびシルバー人材センターのPR活動として、従来より実施している街頭啓発活動や他団体主催のイベントへの参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたしました。田んぼっ湖カフェや新聞等を通じて普及啓発に努めました。

田んぼっ湖カフェ4周年イベント開催(まいどおおきにセール、来場者数:200名、売上金額:193,290円)、12月には年末企業挨拶(83社訪問)、1月に広報誌「シルバーまいばら」の全戸配布を実施、会員募集のチラシについては、9.11.12月に地域限定で17,700部配布し、3月には全戸配布を行い啓発活動に努めました。

シルバー人材センターの活動を積極的にアピールいたしました。

(6) 調査研究事業について

令和3年度の調査研究事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施することが非常に困難な状況になり、職員研修会を中心に実施いたしました。

(7) 福祉・家事援助サービス推進活動について

高齢者世帯および共働き世帯が増加する中、行政と課題を共有連携し、介護予防・生活支援事業に取り組んでいます。福祉家事援助サービス推進委員会は2回、介護支援活動として介護、料理、清掃講習会を開催いたしました。また、ちらし寿司、いなり寿司、お弁当の販売も積極的に実施し、シルバー人材センターの啓発活動を行いました。

(8) 職業紹介事業について

シルバー事業は、高齢法により高齢者に就業の機会を確保・提供する受託事業を中心に、また同法において就業を希望する高年齢者のために職業紹介事業を行うとされていますが、今年度の実績はゼロでした。

(9) 安定的な運営基盤の確立について

令和3年度の職員構成は、正職員3名、嘱託職員5名の8名体制で運営してまいりました。今後とも将来を見据えた長期安定基盤を目指すとともに、デジタル技術活用による事務の簡素化および効率化を一層図りかつ事務局と各方面との連携を深めつつ組織の強化に取り組みました。

また、シルバー人材センターの組織運営費は、国や市の補助金と事務手数料に依存していることには変わりなく、収支相償を原則とする公益法人の会計制度を、より柔軟に運営ができるよう関係機関に引き続き要請を行いました。

(10) 講習会について

お客様から常に求められるサービスを意識し、質の向上を図り、就業機会の拡大を目標として、会員や市民を対象とした講習会を実施しました。

【参加者数】 197名(会員数 167名、市民 30名)

【主な講習会】葉刈り講習会3回、安全運転技能講習会3回、介護講習会、料理講習会、掃除講習会、食品成分表勉強会、スマホ教室

(11) ボランティア活動について

令和3年度は、7月と10月のシルバー環境美化の日に、コロナ禍の中会員244名の参加を得て市内全域と駅周辺でクリーンパトロールを実施し、283袋を回収し市内の環境美化に努めました。

また淡海エコフオスター事業に参加し、6月と10月に天野川尻において会員延45名の参加を得て、草刈り、ゴミ拾い、植木の手入れ等を行い地域の環境美化に努めました。

(12) いきいきご縁事業・田んぼっ湖カフェ

田んぼっ湖カフェは、シルバー会員の生きがいを育む場として根付きつつあり、カフェでの飲食の提供、マルシェでは会員が育てた新鮮野菜や工芸品、手芸品等を販売し市民や高齢者が気軽に立ち寄れる居場所づくりにも大いに貢献してまいりました。

また、他の機関の研修の場としても利用していただき連携し啓発を行いました。イベントルームにおいては会員の作品展・即売会や展示会等を積極的に開催し、シルバー人材センターの啓発活動に寄与しております。

令和3年度は、新型コロナウイルス拡大による緊急事態宣言が発出され、8/27～1ヶ月間休業、再開後は営業時間を短縮し2名のスタッフで営業しました。

このような状況下、カフェ就業会員32名、マルシェ出店会員50名の就業拡大の場となり、来客人数は月平均 899名、月の売り上げも 35～70万円と推移し、令和3年度の売上額は 5,615,470円、来客人数は9,890人となりました。カフェ就業会員は、毎日3名のスタッフで活動。配分金は時間当たり185円～370円でした。多くの方にご利用していただきありがとうございました。

また、イベントルームにおいては、作品の展示などに利用していただき皆様の憩いの場として使用していただきたく思います。田んぼっ湖カフェを「シルバーの発信場所」アンテナショップとして今後ともよろしく願いいたします。